

ATARI GAME OVER アタリ ゲームオーバー (2014)

ATARI: GAME OVER

メディア 映画

ジャンル ドキュメンタリー

製作国 アメリカ

時間 91分

公開情報 劇場未公開

【解説】

1980年代初頭にブームとなったTVゲーム機“ATARI2600”専用のゲームソフト「E.T.」は、スティーヴン・スピルバーグの同名大ヒット映画とタイアップして作られたが、ゲーマーたちから史上最悪のゲームとしての烙印を押され、製作元のビデオゲーム会社“ATARI社”の倒産を招いたといわれている。その「E.T.」の不良在庫が、アメリカ・ニューメキシコ州にある砂漠に大量に埋められているという都市伝説を検証すべく「X-MEN：ファイナル ディシジョン」の脚本で知られるザック・ペンがメガホンを取ったドキュメンタリー作品。“ATARI”に関わった様々な人に取材を試み、消え去ったクリエイターへのインタビューを行うことにより、その数奇な運命をたどってゆく。

【クレジット】

監督 ザック・ペン Zak Penn

製作 サイモン・チン Simon Chinn

ジョナサン・チン Jonathan Chinn